

三つ数えろ (1946)

THE BIG SLEEP

メディア 映画

ジャンル サスペンス ミステリー 犯罪

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 110分

初公開日 1955/04/20

公開情報 WB

【解説】

チャンドラーの『大いなる眠り』の映画化で、脚色は文豪フォークナーに、ブラケットとファースマンと大変豪華な布陣だが、原作者の回想によると、文豪はほとんどタッチしなかったそうである。ホークスの演出は、彼特有の骨っぽさとエロティシズムが出て、いわゆるハードボイルド的文体ではないが、非常にノッている感じで観ていて嬉しくなる。人物の出入りが激しく、追う事件が一つでなく幾つもリンクしてくるので、分かり難いとの風評をよく耳にするが、これがミステリーってもんじゃなかるうか。

主人公の探偵フィリップ・マーロウは、富豪の退役将軍スタンウッドに呼ばれ、次女カーメン（ヴィッカーズ）が書店主ガイガーから多額の請求を受けている件について調査するよう頼まれる。その背後にはこれまでも何度かゆすってきた与太者プロディがいるのではーというのが将軍の読みである。果たして、ガイガーの素行を探ると、色情狂でたまに心身喪失するカーメンをモデルに怪しい写真など撮っていたが、すぐに何者かによって殺され、現場にはカーメンが立ちすくんでいた。プロディの線を洗いながら、マーロウにはカーメンの姉ビビアン（バコール）の不審な行動が気になり始める。彼女は、IRAの活動家リーガンの妻を寝取ったことで名を馳せるカジノ経営者マースに、多額の借金があった……。

ガイガーの正体を見抜く、始めの方の何気ない描写などーあらかじめ古書の知識を蓄えていって、店員に質問すると、向かいの店の売り子が分かっている常識を彼女が知らなかったというクリシェなのだが、ホークスの快活さがすこぶる好調で、チラッと出てくるだけの向かいの店子のマローンが可愛らしいお色気で点数を稼ぐ（実際、この作品で認められ、彼女は主演格となっていった）。マーロウのボギーの良さは今さら言うまでもなかるう。作中の脅し文句“映画のように三つ数えるか”から来ている邦題は、これはこれで名タイトルと言えるだろう。

【クレジット】

監督	ハワード・ホークス	Howard Hawks	
製作	ハワード・ホークス	Howard Hawks	(クレジットなし)
製作総指揮	ジャック・L・ワーナー	Jack L. Warner	
原作	レイモンド・チャンドラー	Raymond Chandler	
脚本	ウィリアム・フォークナー	William Faulkner	
	リー・ブラケット	Leigh Brackett	
	ジュールス・ファースマン	Jules Furthman	
撮影	シド・ヒコックス	Sid Hickox	
編集	クリスチャン・ネイビー	Christian Nyby	
音楽	マックス・スタイナー	Max Steiner	
出演	ハンフリー・ボガート	Humphrey Bogart	フィリップ・マーロウ
	ローレン・バコール	Lauren Bacall	ヴィヴィアン・ルトレッジ

ジョン・リッジリー	John Ridgely	エディ・マーズ
マーサ・ヴィッカーズ	Martha Vickers	カーメン・スターンウッド
レジス・トゥーミイ	Regis Toomey	
ペギー・クヌードセン	Peggy Knudsen	
ドロシー・マローン	Dorothy Malone	
エリシャ・クック・J r	Elisha Cook Jr.	
ボブ・スティール	Bob Steele	
ルイス・ジーン・ヘイト	Louis Jean Heydt	
チャールズ・ウォルドロン	Charles Waldron	